

依頼者 株式会社 丹羽メディカル研究所

検体名 「SODロイヤル」レギュラータイプ

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木1-52番1号



2018年(平成30年)03月06日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
水分	3.6 g/100g	----		常圧加熱乾燥法
たんぱく質	19.7 g/100g	----	1	燃烧法
脂質	25.6 g/100g	----		酸分解法
灰分	4.0 g/100g	----		直接灰化法
炭水化物	45.8 g/100g	----	2	—
糖質	31.2 g/100g	----	3	—
食物繊維	14.6 g/100g	----		酵素-重量法
エネルギー	463 kcal/100g	----	4	—
ナトリウム	3.2 mg/100g	----		原子吸光光度法
食塩相当量	0.0081 g/100g	----	5	—
リン	728 mg/100g	----		ICP発光分析法
鉄	7.00 mg/100g	----		ICP発光分析法
カルシウム	155 mg/100g	----		ICP発光分析法
カリウム	1010 mg/100g	----		原子吸光光度法
マグネシウム	315 mg/100g	----		ICP発光分析法
銅	0.61 mg/100g	----		ICP発光分析法
亜鉛	5.46 mg/100g	----		ICP発光分析法
マンガン	13.3 mg/100g	----		ICP発光分析法
セレン	16 µg/100g	----		蛍光光度法
クロム	検出せず*	50 µg/100g		ICP発光分析法
ビタミンA(レチノール活性当量)	133 µg/100g	----	6	—
α-カロテン	140 µg/100g	----		高速液体クロマトグラフ法
β-カロテン	1520 µg/100g	----	7	高速液体クロマトグラフ法
チアミン(ビタミンB ₁)	0.83 mg/100g	----	8	高速液体クロマトグラフ法
リボフラビン(ビタミンB ₂)	0.39 mg/100g	----		高速液体クロマトグラフ法
タンニン(タンニン酸として)	1.22 g/100g	----		FOLIN-DENIS法
無水カフェイン	0.12 g/100g	----		高速液体クロマトグラフ法

注1. 計算式:(全窒素-カフェイン態窒素)×6.25

注2. 食品表示基準(平成27年内閣府令第10号)による計算式:100-(水分+たんぱく質+脂質+灰分+カフェイン+タンニン)

注3. 食品表示基準(平成27年内閣府令第10号)による計算式:100-(水分+たんぱく質+脂質+灰分+食物繊維+カフェイン+タンニン)

注4. 食品表示基準(平成27年内閣府令第10号)によるエネルギー換算係数:たんぱく質, 4; 脂質, 9; 糖質, 4; 食物繊維, 2

注5. 計算式:ナトリウム×2.54

注6. α-カロテン24µg及びβ-カロテン12µgをそれぞれレチノール活性当量1µgとした。

注7. 食品表示基準について(平成27年消食表第139号)別添 栄養成分等の分析方法等

注8. チアミン塩酸塩として。

以 上

依頼者 株式会社 丹羽メディカル研究所

検体名 「SODロイヤル」レギュラータイプ

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木1-52番1号



2018年(平成30年)03月06日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
ビタミンB ₆	0.852 mg/100g	----	1	微生物定量法
総アスコルビン酸(総ビタミンC)	4 mg/100g	----	2	高速液体クロマトグラフ法
ビタミンE(α-トコフェロール)	6.0 mg/100g	----		高速液体クロマトグラフ法
β-トコフェロール	1.0 mg/100g	----		高速液体クロマトグラフ法
γ-トコフェロール	9.2 mg/100g	----		高速液体クロマトグラフ法
δ-トコフェロール	1.8 mg/100g	----		高速液体クロマトグラフ法
スーパーオキシド消去活性	7.0×10 ³ 単位/g	----	3	電子スピン共鳴(ESR)法
ゲニホシト酸	0.19 g/100g	----		高速液体クロマトグラフ法
大豆イソフラボン	49 mg/100g	----	4	高速液体クロマトグラフ法
エピガロカテキンガレート	0.38 g/100g	----		高速液体クロマトグラフ法
総アフラトキシン	検出せず	----	5	----
アフラトキシンB ₁	検出せず	1.0 μg/kg		高速液体クロマトグラフ法
アフラトキシンB ₂	検出せず	1.0 μg/kg		高速液体クロマトグラフ法
アフラトキシンG ₁	検出せず	1.0 μg/kg		高速液体クロマトグラフ法
アフラトキシンG ₂	検出せず	1.0 μg/kg		高速液体クロマトグラフ法
BHC	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
DDT	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
アルトリン及びピテイルトリン	検出せず	0.005 ppm		ガスクロマトグラフ法
エントリン	検出せず	0.005 ppm		ガスクロマトグラフ法
EPN	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
タイジン	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
ハラチオン	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
フェントロチオン	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
フェンチオン	検出せず	0.01 ppm		液体クロマトグラフ-質量分析法
フェントエート	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法
マラチオン	検出せず	0.01 ppm		ガスクロマトグラフ法

注1. 使用菌株:Saccharomyces cerevisiae(S.uvarum) ATCC 9080

注2. ヒトラジウムで誘導体化した後測定した。

注3. J. M. McCord及びI. Fridovichが定義した単位 [J. Biol. Chem., 244, 6049(1969)]に相当する消去能として。

注4. タイジン, グリシン, ゲニホシト酸及びそれぞれのアグリコン, アセチル体及びマロニル体の総量。アセチル体及びマロニル体は, タイジン, グリシン又はゲニホシトとして算出し, 分子量で補正した。

 注5. アフラトキシンB₁, B₂, G₁, G₂ の合計値。ただし, 数値の取り扱いは平成23年食安発0816第2号「総アフラトキシンの試験法について」による。

以上

依頼者 株式会社 丹羽メディカル研究所

検体名 「SODロイヤル」レギュラータイプ

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木152番1号



2018年(平成30年)03月06日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
カルハ°リル	検出せず	0.01 ppm		液体クロマトグラフ-質量分析法

以上